

2026年
保存版

美咲町

防災 ガイドブック

わが家の避難場所は

家族で話し合って記入してください。

緊急連絡先

美咲町 暮らし安全課

電話番号：0868-66-1112 (代表)
<https://www.town.okayama-misaki.lg.jp>

火事・緊急

119番

警察

110番

目次

はじめに

地震対策

風水害・土砂災害対策

避難時の心得

災害への備え

マイ・タイムライン（風水害・土砂災害編）

マイ・タイムライン（地震編）

ハザードマップの使い方

災害への予備知識

避難所・避難場所一覧

ハザードマップ全体索引図

ハザードマップ

防災メモ

わが家の防災メモ・災害時の情報はこちらから

1

2

4

6

7

8

10

11

12

13

14

16

37

38

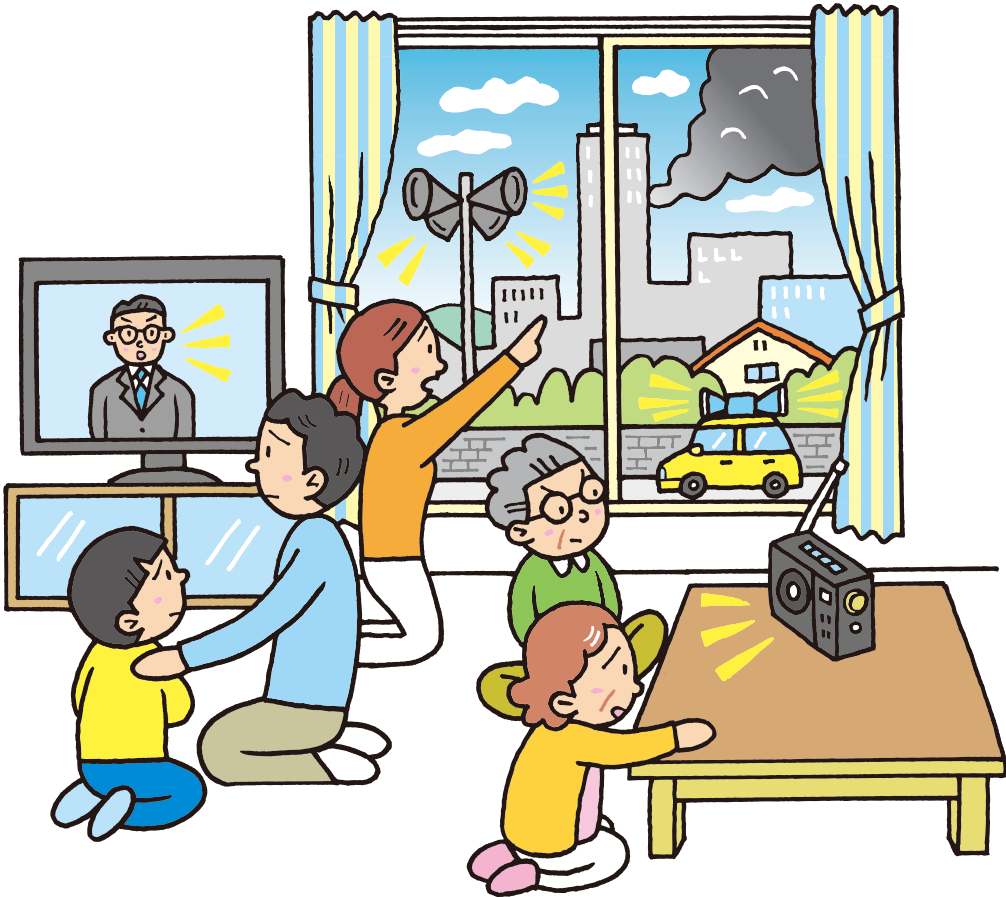
はじめに

この防災マップは、地域の災害に対する備え、住民の皆さんの災害時の避難や危険回避など、自主的な行動を支援することを目的に作成しています。

近年の気象状況では、災害はいつどこで発生するかわかりません。災害を防ぐことは困難ですが、日頃から地域での「声掛け」「情報収集」、「備蓄」、「避難」など災害への備えと早めの避難により被害を最小限に防ぐことができます。防災マップをご覧ください、いざという時に備え、自宅や職場周辺の危険個所や避難所、避難経路などを今一度確認してください。また、大雨時などには、地域ぐるみで気象情報や前兆現象などに注意して、少しでもおかしいと感じたら早めに安全な場所に避難するなど、身を守る行動をとってください。

また、日ごろから地域自主防災組織や自治会、家族や個人で、地域の危険な場所や避難場所、避難スイッチ、備蓄、連絡方法などあらかじめ話し合いを行い、地区防災計画、個別計画（マイ・タイムライン）などを決め訓練を行いましょう。

※ 防災マップ、個別避難計画（マイ・タイムライン）は、お家の中の見えるところや、すぐ取り出せるところに保管しましょう。



地震対策

地震発生時の行動(家庭の場合)

※これは一例です。身の危険を感じたら、直ちに避難しましょう。

①緊急地震速報発表

- テレビやラジオなどで放送されるほか、携帯端末などへ発信されます。

⑥避難する

- 非常持出品を持って指定の避難場所へ移動する。
- 外へ出る際には落下物に注意する。
- 車は使用しない。
- 落ち着いて、忘れ物がないように注意する。
- 戸締まりをしっかり行う。

⑤電気のブレーカーを切る

- 漏電などによる火災を防ぎます。

②頭を守り、安全確保

- クッションやバッグなど、身近にあるもので頭を守る。
- 机の下などにもぐり、机の足を持つ。
- あわてて外に飛び出さない。

③逃げ道を確保する

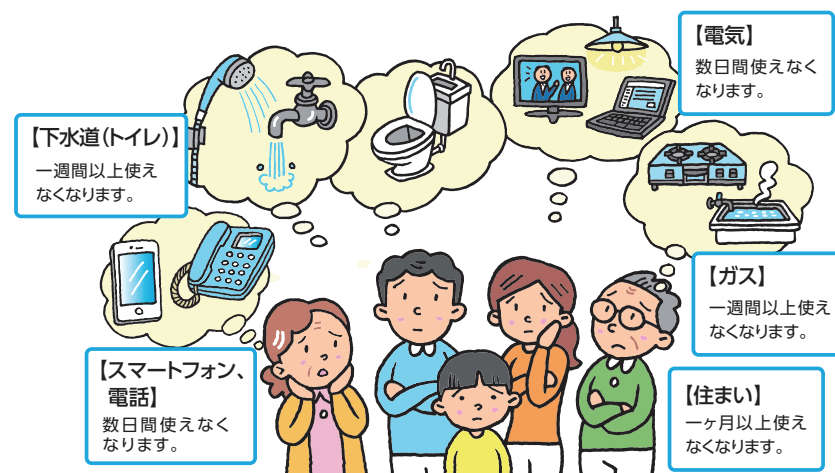
- 揺れが収まったら、ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する。
- ガラスの破片などが落ちているので、靴やスリッパを履いて移動する。

④火を止める

- 火を使用中なら、火を消しガスの元栓を閉める。(無理して火を消そうとしない。揺れが収まってから火を消す。)
- 出火していたら、初期消火を行う。

もし大地震が起きたら

もし、大地震が起きたら、日常生活にも大きな影響が予想されます。



南海トラフ地震とは

駿河湾から日向灘沖までのプレート同士が接する海底の溝状の地形を形成する区域を「南海トラフ」といいます。この南海トラフ沿いのプレート境界域を震源とする大規模な地震が「南海トラフ地震」です。南海トラフ地震の発生には周期性があり、昭和東南海地震及び昭和南海地震が起きてから70年以上が経過していることから、南海トラフにおける次の大規模地震の発生時期が迫っていると言われています。

こんな場所にいたら

屋内

ビル・オフィス

- 机や作業台の下にもぐる。
- ロッカーなど大型備品の転倒、OA機器の落下に注意。

デパート・スーパー

- バッグなどで頭を保護。
- ショーウィンドーや売り場から離れ、壁ぎわに移動する。
- 係員の指示に従う。

集合住宅

- ドアや窓を開けて、避難口を確保。
- エレベータは絶対使用しない。乗っていたら、全ての階のボタンを押す。
- 避難は階段で行う。

海岸付近

海岸付近で強い揺れを感じたら、津波の危険から身を守るために、すみやかにできるだけ海岸から離れた高いところへ避難しましょう。(町外で津波に遭遇することを想定しよう)

家の中の安全対策

家の中に、家具のない安全なスペースを確保する

部屋が複数ある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめておく。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるように配置換えをする。

寝室や子ども・高齢者・傷病者がいる部屋には、倒れそうな家具を置かない

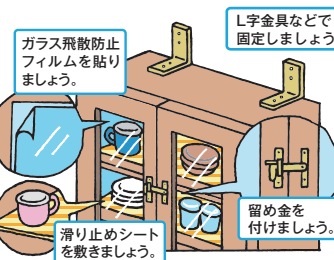
就寝中に地震が発生した場合、子どもや高齢者、傷病者などは倒れた家具が妨げとなって逃げ遅れるおそれが高いので注意する。どうしても置かざるを得ないときには固定する。

出入り口や通路には、ものを置かない

いざというときに安全に避難できるように、玄関などの出入り口やそこに至る通路には倒れやすいものを置かない。

家具の転倒や落下を防止する対策をとる

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすくて危険。また、家具の上に落ちやすいものを置かない。



屋外

路上

- バッグなどで頭を保護し、空き地や公園などに避難。
- ガラスや看板などの落下物に注意。
- 建物、ブロック塀、自動販売機などには近寄らない。

車を運転中

- ハンドルをしっかり握り、徐々にスピードを落とす。道路の左側に車を寄せ、エンジンを切る。避難するときは、キーをつけたままに。車検証や貴重品は忘れずに持ち出す。

電車などの車内

- つり革、手すりに両手でしっかりつかまる。勝手に車外へ飛び出さず、係員の指示に従う。

家の周囲の安全対策

屋根

屋根瓦やアンテナが不安定になっていないかを確認し、問題がある場合は補強・修理する。

ベランダ

整理整頓し、落下する危険がある植木鉢やエアコンの室外機は配置を変えたり、固定する。

プロパンガス

地震や強風で倒れないように、しっかりと土台の上に置き、鎖で壁面に固定する。

玄関まわり

自転車や植木鉢など、通行に支障となるものは置かない。古新聞・古雑誌などは放火の危険があるため放置しない。



風水害・土砂災害対策

情報の収集

大雨や台風の時、気象庁や地元の気象台はさまざまな防災気象情報を発表します。気象情報の種類や内容を理解し、日頃から天気予報を気にかけるように心がけましょう。

主な防災気象情報の種類	
注意報	災害のおそれがあるとき
警報	重大な災害のおそれがあるとき
特別警報	数十年に一度の大災害が起こると予想される場合
土砂災害警戒情報	土砂災害のおそれが非常に高まったとき
危険度分布	危険度の高まりを地図に色分け表示
府県気象情報	警報・注意報に先立ち注意喚起するとき
記録的短時間大雨情報	災害の発生につながるような、数年に一度程度しか観測しない短時間の大雨の場合

風が強い時

屋内では
風圧や飛来物で窓ガラスが割れ、破片が吹き込む危険があります。外から板でふさいだり、内側からガムテープを×印に貼り、カーテンを閉めておきましょう。

路上では
看板が飛んだり、街路樹が倒れたりする危険があるので、近くの頑丈な建物の中に避難しましょう。大雨を伴う場合は、地下には逃げこまないようにしましょう。

海辺では
海中への転落や高波に巻き込まれる危険があります。沿岸に近づかないようにしましょう。強風、豪雨時はサイレンなどの警報が聞こえないこともあるので十分に注意しましょう。

自宅の風水害危険度を知ろう

自宅の風水害危険度を知るためには、ハザードマップなどで、自宅付近がどの程度の危険度になっているか確認しておきましょう。

ハザードマップの確認ポイント

- ▶ 自宅付近の予測される危険な場所
- ▶ 避難場所の位置、そこに至る経路
- ▶ AED の設置場所
- ▶ ヘリポートなどの位置

詳しいハザードマップの使い方は P11 へ

大雨の時

屋内では
床下・床上浸水の危険があります。家財道具や貴重品を高い場所に移動しておきましょう。

車の運転中は
豪雨で視界が悪くなると非常に危険です。あせらずに高台に移動しましょう。浸水でエンストしたときは、無理に再始動させるとエンジンに傷めてしまいます。

河原では
急な増水や土砂災害の危険があるので、河川敷から堤防の外に移動しましょう。今いる場所で雨が降ってなくても、サイレンなどの警報が聞こえたらすぐ退避しましょう。

土砂災害は前兆を確認したら、すぐ避難しましょう！

- ### がけ崩れ

 - ▶ がけからの水がにごる
 - ▶ 地下水やわき水が止まる
 - ▶ 斜面のひび割れ、変形がある
 - ▶ 小石が落ちてくる
 - ▶ がけから音がする
 - ▶ 異様な匂いがする
- ### 土石流

 - ▶ 山鳴りがする
 - ▶ 立木の裂ける音や岩の流れる音がする
 - ▶ 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる
 - ▶ 川の水がにごったり、流木が交ざる
- ### 地すべり

 - ▶ 地面にひび割れができる
 - ▶ 井戸や沢の水がにごる
 - ▶ がけや斜面から水が噴き出す
 - ▶ 家やよう壁に亀裂が入る
 - ▶ 家やよう壁、樹木、電柱が傾く



土砂災害時の避難の心得

- ▶ 避難する際は、土砂災害警戒区域内の通過は避けましょう。
- ▶ 土石流に関しては、溪流に対して直角方向へ避難しましょう。
- ▶ 溪流を渡って対岸に避難することは避けましょう。

危険が迫ったら

- ▶ **屋内安全確保（垂直避難）**
避難所に行くことでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。
- ▶ **水平避難**
その場を立ち退くという避難方法です。詳しくは P12 へ
避難所・知人宅・公園・高台など、災害状況で判断しましょう。



警戒レベルでの行動と避難のタイミング

気象状況	大雨の数日～約 1 日前	大雨の半日～数時間前	大雨の数時間～ 2 時間程度前		数十年に一度の大雨
警戒レベル	1	2	3 高齢者など避難	4 避難指示	5 緊急安全確保
防災気象情報	早期注意報（警報級の可能性） 台風や大雨に関する気象情報	大雨注意報 雨の状況や今後の状況の予測を発表	大雨警報（土砂災害・大雨） 大雨などの期間、予測、警戒事項などを発表 危険度分布「警戒」（赤色ゾーン）	土砂災害警戒情報 雨の雨量などにより、土砂災害発生が高まった予想を発表 危険度分布「危険」（うす紫ゾーン）	大雨特別警報
町の対応	▶ 防災体制の確認 ▶ 気象情報雨量の確認 ▶ 今後の対応検討	▶ 防災配備（注意） ▶ 情報収集、配信 ▶ 「自主的な早めの避難」に関する備えなど、呼びかけ ▶ 被害状況の把握、今後の対応準備	▶ 防災配備（警戒） ▶ 気象、被害情報収集、配信、現地確認対応 ▶ 気象、観測状況を確認し、危険な地域へ「高齢者など避難」発令 ▶ 避難場所などの準備 ▶ 危険がある場合は「避難開始」	▶ 防災配備（特別警戒） ▶ 気象、被害情報収集、配信、現地確認、避難所対応 ▶ 気象、観測状況を確認し、危険な地域へ「避難指示」発令 ▶ 現地の確認及び復旧対応 ▶ 避難者、要支援者対応	▶ 非常事態 ▶ 気象、被害情報収集、配信、現地確認、避難所、被害対応 ▶ 「緊急安全確保」
住民の行動	気象情報などを随時確認して、住居周辺や農地、水路などの点検 ハザードマップなどにより、避難所、避難経路、備蓄、避難を始める基準確認	気象台からの気象情報や、町からの避難情報を常に確認 危険な地域に居住、避難に時間を要する方、夜間に避難が想定される場合などは、自主避難開始	気象台からの気象情報や、町からの避難情報 危険な地域に居住、避難に時間を要する方は、 を常に確認 避難開始	気象台からの気象情報や、町からの避難情報を常に確認 危険な地域に居住の方や避難情報発令地域にお住まいの方は、必ず避難所 又は近くの安全な場所を確保し避難	災害発生、発生が予想されるため垂直避難など「速やかに安全な場所（今いる場所）で）へ避難」
自主防災の行動	地域の危険箇所などの確認 避難の開始時期などの確認	地域の一時避難所の準備、避難の準備開始 ▶ 自主的な早めの避難に関する備えなど、呼びかけ	地域内の危険箇所確認、避難所開設、支援が掛け」や避難の支援 必要な方への「声	避難者、被害発生、危険箇所など、地域で確認している情報を町へ連絡 地域内の安否確認	災害発生、発生が予想されるため垂直避難など「速やかに安全な場所（今いる場所）で）へ避難」

早め早めの行動で命を守りましょう。

避難時の心得

避難時の新型コロナウイルスなどの感染症対策

- 避難する前に**
避難所の密を避けるため、町が指定した避難所のみならず、安全な場所にある集会所、親戚、知人の家などへの避難も検討しましょう。自宅が安全な場所にあれば在宅避難（垂直避難）も検討しましょう。日頃からハザードマップや現地を見て安全な場所を確認しましょう。
- 避難所で注意すること**
マスク着用、手洗い、定期的な検温などを徹底しましょう。避難所の衛生環境を整えるため、定期的に清掃をしましょう。定期的に換気をし、人と十分な距離を保ちましょう。
- 避難所に携行するもの**
・マスク、消毒液、体温計など

避難所での利用ルール

- マナーを守りましょう**
大声を出したりしないで、マスクをして静かに過ごしましょう。
- みんなで協力して運営**
食料の分配やトイレ掃除など、やることはたくさんあります。みんなで協力して共同生活をしましょう。
- 譲り合いましょう**
慣れない避難所での生活は大変ですが、そんなときだからこそ譲り合いの気持ちを持ちましょう。
- 要配慮者への配慮を**
要配慮者（高齢者、障がいのある人など）の特性に合わせ、別に避難スペースを設けるなどの配慮を行いましょう。

自主防災組織について

自主防災組織を結成し、活動を進めていくためには、組織を取りまとめる会長をおき、会長のもとに副会長ほか地域全員で自主防災活動に参加する構成員一人ひとりの仕事の分担を決め、組織を編成する必要があります。編成にあたっては、まず活動班を編成し、活動班ごとに指揮者（班長）を決めます。班編成も組織の規模や地域の実情によって異なるため、まずは地域に必要な最低限の班編成から徐々に編成を充実させることも必要です。

<自主防災組織活動事例>

班編成名	日常の役割	災害時の役割
総務班	全体調整 他機関との連絡調整 避難行動要支援者の把握	全体調整 他機関との連絡調整 被害・避難状況の全体把握 (避難行動要支援者の避難状況など)
情報班	情報の収集・伝達 広報活動	状況把握 報告活動
消火班	器具点検 防火広報	初期消火活動
救出・救護班	資機材調達・整備	負傷者などの救出 救護活動
避難誘導班	避難路（所）・標識点検	住民の避難誘導活動
給食・給水班	器具の点検	水、食料などの配分 炊き出しなどの給食・給水活動

災害への備え

家族構成にあった品物と量を考えて用意しましょう。

非常持出品リスト（例）

貴重品

- ☐ 貴重品（印鑑・通帳など）
- ☐ 現金（小銭も含めて）
- ☐ 筆記用具
- ☐ 健康保険証のコピー

食糧など

- ☐ 非常食（乾パン・缶詰など）
- ☐ 飲料水

医療品など

- ☐ マスク・手指消毒液・体温計
- ☐ ティッシュ・ウェットティッシュ
- ☐ 常備薬【お薬手帳】
- ☐ 消毒液
- ☐ ばんそうこう

防災用品・便利品など

- ☐ 携帯ラジオ（予備電池を含む）
- ☐ 懐中電灯（予備電池を含む）
- ☐ 携帯電話の充電器・予備バッテリー
- ☐ ろうそく・ライター・マッチ
- ☐ ヘルメット・防災ずきん・ホイッスル
- ☐ ビニール袋
- ☐ ナイフ・缶切りなど
- ☐ 防寒用品（使い捨てカイロ・防寒保温シート）
- ☐ 軍手・手袋

衣類など

- ☐ タオル
- ☐ 衣類（防寒着・雨ガッパ）
- ☐ 着替え

非常備蓄品リスト（例）

食糧など

- ☐ 食品（レトルト・アルファ米・缶詰など）
- ☐ 食品（調味料・スープ・味噌汁など）
- ☐ 食品（チョコレート・あめなど）
- ☐ 水（一人1日3リットル目安）

防災用品・便利品など

- ☐ 燃料（卓上コンロ・固形燃料・予備のガスボンベなど）
- ☐ 毛布・タオルケット・寝袋など
- ☐ 簡易トイレ
- ☐ 洗面用品（歯磨き・ドライシャンプー・石けんなど）
- ☐ 鍋・やかん
- ☐ 簡易食器（割り箸・紙コップなど）
- ☐ ラップ・アルミホイル
- ☐ トイレットペーパー・ウェットティッシュなど

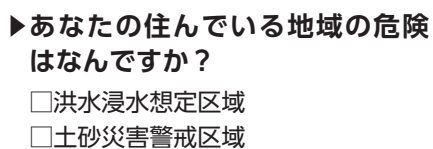
子ども用 非常持出品リスト（例）

避難時に子どもとはぐれてしまった場合に備えて子ども用の非常持出袋を準備しましょう。

- ☐ 保護者の連絡先を書いたメモ
- ☐ 家族の写真
- ☐ 母子（親子）手帳のコピーやアレルギーなどの記録
- ☐ 最低限の非常食と水
- ☐ ホイッスル
- ☐ ライト など

事前に確認しておく情報

あなたの行動



▶住んでいる場所の洪水浸水深は？

例：吉井川 0.5m

①	川、	m
②	川、	m
③	川、	m

5.0m	2階建程度の建物が水没する
3.0m	木造家屋のほとんどが全壊する
2.0m	木造家屋の半数が全壊する
1.0m	床上浸水、1階の軒下まで浸水する
0.3m	床下浸水、避難行動が取れなくなる

A cartoon illustration of a two-story yellow house with a brown, shingled roof. The house has a brown door with a small window and a doorknob. There are four windows in total: two on the second floor and two on the first floor. A man in a light blue shirt and pants is holding the hand of a young boy in a yellow shirt and blue pants. They are standing on a small patch of green grass in front of the house. The background is white with faint red horizontal lines.

▶ 台風が接近する前のあなたの対策は？（完了したら☒を入れましょう）

- ☐ 強風で飛ばされそうな物品の片づけ、固定をする
- ☐ 土のうの準備などの自宅の浸水対策を実施する
- ☐ テレビ、ラジオ、スマートフォンなどから気象や河川の状況を
確認する

非常持出品リスト
貴重品、食糧など、医療品など
防災用品・便利品など、衣類など

非常備蓄品リスト
食糧など、防災用品・便利品など

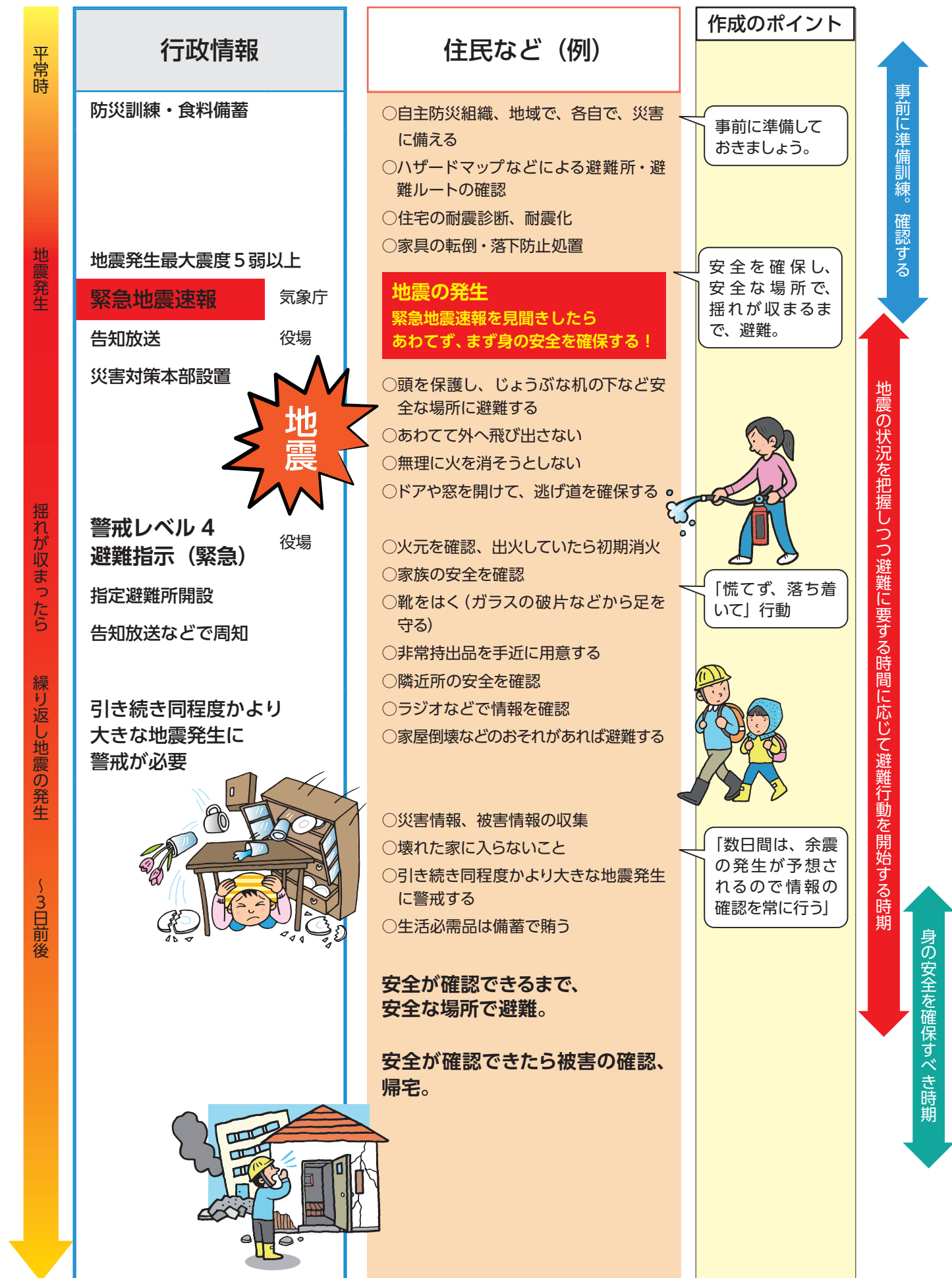
子ども用 非常持出品リスト

▶避難する際の行動は？（完了したら $\checkmark$ を入れましょう）

- ☐ 周囲の状況、気象情報に注意する
- ☐ 避難所（ ）の開設状況を確認する
- ☐ 屋内で安全を確保する
- ☐ 家族、知人など（ ）に避難することを伝える
- ☐ 火の元、戸締りを確認する
- ☐ 知人、親戚宅など近隣の安全な場所へ避難する
- ☐
- ☐
- ☐
- ☐
- ☐

※このタイムラインは、避難行動の**基本的な流れ**を目安として示したものです。
町からの避難情報などは、気象状況や地理的要因によって、**必ずしもこの順番で発令されるとは限らない**ので、注意してください。

マイ・タイムライン(地震編)



ハザードマップの使い方

ガイドブック(ハザードマップなど) P37 からの防災メモと一緒にご確認ください。

1. 自宅を見つけよう

ハザードマップで自宅を見つけ印をつけましょう。周囲の情報(浸水区域・AED・ヘリポートの場所など)も同時に確認しておきましょう。



2. 避難経路を確認しよう

実際の避難経路を地図に記入して事前に歩いてみましょう。その際に自宅から避難先まで必要な時間を計測してみましょう。



3. 家族で事前に決めておこう

災害はいつ襲ってくるかわかりません。

災害の発生に備え、各自の役割分担や連絡方法、避難方法などをあらかじめ話し合っておきましょう。避難場所、連絡先などの記入はP37からの「防災メモ」をご利用ください。

① 各自の役割分担を決める

家の安全確認、備蓄品や非常持出品の確認を行うなど、家族の役割を決めて備えておきましょう。

② 連絡方法を決める

家族や地域での連絡方法、災害伝言ダイヤルの使い方を練習しておきましょう。電話が不通になる場合に備えて安否確認の方法は複数用意しましょう。

③ 避難場所を決める

ハザードマップを確認して、あらかじめ避難場所を決めておけば、家族と再会できる可能性が高くなります。避難先としては、避難所だけではなく、安全な親戚・知人宅などへの避難も検討しましょう。

④ 避難する時近所のだれに声をかけるか決める

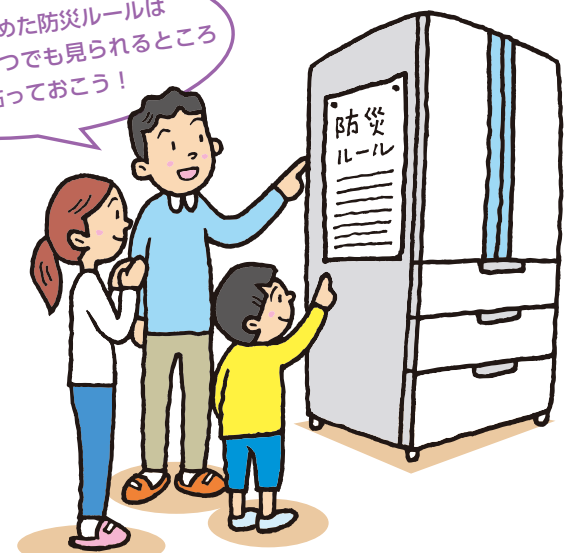
近所の人と話し合っておき、避難時に隣近所ではだれと一緒に避難をするか決めておきましょう。

安否確認の方法

- 災害発生時、被災地エリア間の電話はつながりにくくなります。そんな時でも、被災地エリア外の電話は比較的つながりやすくなっています。
- 遠方の親戚や知人に連絡を取ることを決めておけば、安否確認に役立ちます。



家族で決めた防災ルールは冷蔵庫などいつでも見られるところに貼っておこう！



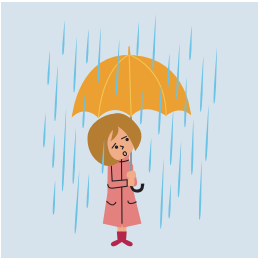
災害への予備知識

雨の強さと測り方

気象庁：雨の強さと測り方

やや強い雨

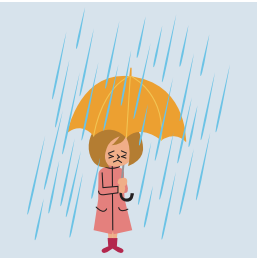
1 時間雨量 (mm)
10 以上～ 20 未満



ザーザーと降る、地面からの跳ね返りで足元がぬれる。

強い雨

1 時間雨量 (mm)
20 以上～ 30 未満



どしゃ降り、傘をさしてもぬれる。車の場合ワイパーを速くしても見づらい。

激しい雨

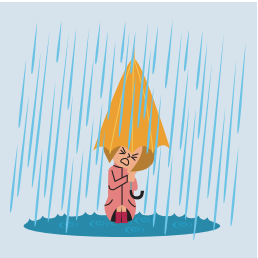
1 時間雨量 (mm)
30 以上～ 50 未満



バケツをひっくり返したように降る、道路が川のようになり、車の場合、高速走行時ブレーキが効かなくなる。

非常に激しい雨

1 時間雨量 (mm)
50 以上～ 80 未満



滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）傘は全く役に立たなくなる。視界が悪く、車の運転は危険。

猛烈な雨

1 時間雨量 (mm)
80 以上～



息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。大規模な災害に備えて厳重な警戒を。

震度と揺れ等の状況

気象庁：震度と揺れ等の状況（概要）

<震度 1>

屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。

<震度 2>

屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。

<震度 3>

屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。

<震度 4>

ほとんどの人が驚く。電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。座りの悪い置物が、倒れることがある。

<震度 5 弱>

大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。棚にある食器類や本が落ちることがある。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

<震度 5 強>

物につかまらなないと歩くことが難しい。棚にある食器類や本で落ちるものが増える。固定していない家具が倒れることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。

<震度 6 弱>

立っていることが困難になる。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

<震度 6 強>

はわないと動くことができない。飛ばされることもある。固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

<震度 7>

耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

水平避難と垂直避難について

危険な状況のなかでは、避難はできるだけ避け、安全の確保を第一に考えます。危険が切迫している場合は、指定された避難場所への移動「**水平避難**」だけでなく、命を守る最低限の行動が必要な場合もあります。



「**垂直避難**」を要する場合

- 夜間や急激な降雨で避難路上の危険箇所がわかりにくい
- 膝下まで浸水している（50cm 以上）
- 浸水は 20cm 程度だが、水の流れる速度が速い
- 浸水は10cm 程度だが、用水路などの位置が不明で転落のおそれがある
- 立ち退き避難が危険な状況で、裏山がくずれのおそれがある

屋外への移動は危険です。浸水による建物倒壊の危険がないと判断される場合には、自宅や近隣建物の 2 階以上へ緊急的に一時避難し、救助を待つことも検討してください。

避難所・避難場所一覧

指定避難所

指定緊急避難所 指 水害が発生した場合の指定緊急避難所です。
避難所 指 地震・土砂災害が発生した場合の指定緊急避難所です。

地区名	番号	避難場所	電話番号	※危険区域の種別
中央	1	加美小学校体育館 指 指	0868-66-0104	
	2	中央中学校体育館 指 指	0868-66-0105	
	3	中央運動公園総合体育館 指 指	0868-66-2680	
	4	中央公民館 指 指	0868-66-7151	
	5	林業センター 指 指	0868-66-0053	
	6	越尾老人憩いの家 指 指		
	7	小原老人憩いの家 指 指		
	8	加美南ふれあいセンター 指 指	0868-66-0064	
	9	打穴中老人憩いの家 指 指		
	10	中央かめっこ保育園	0868-66-7005	
	11	美咲中央小学校体育館 指 指	0868-66-7588	
	12	養護老人ホーム静香園	0868-66-0012	
	13	三保ふれあい館 指 指	0868-66-0018	
	14	錦織老人憩いの家 指 指		
	15	特別養護老人ホーム白寿荘	0868-66-2443	
	16	打穴体育館 指		土石流
	17	打穴老人憩いの家 指		土石流
	18	打穴西公会堂 指		
	19	大坪和ふれあいプラザ		急傾斜
	20	二上山荘	0868-68-0015	
	21	境公民館 指 指		
旭	22	北コミュニティセンター（北公民館）指 指		
	23	畜産研究所内体育館	0867-27-3321	
	24	南公民館		
	25	里公民館		
	26	広末コミュニティハウス		急傾斜
	27	川北ふれあい館		
	28	西坪和公民館 指 指		
	29	西川コミュニティセンター		急傾斜

地区名	番号	避難場所	電話番号	※危険区域の種別
旭	30	旭公民館 指	0867-27-3674	土石流
	31	子ども第三の居場所 指	0867-27-3382	土石流
	32	旭学園体育館	0867-27-2029	急傾斜
	33	清水コミュニティセンター（清水館）		
	34	三休公園民話館 指 指	0867-27-2039	
	35	友清公民館		土石流
	36	千田公民館		急傾斜
	37	南当地老人共同作業場		山腹崩壊
	38	坪和コミュニティセンター		
	39	上口公民館 指 指		
	40	小山公民館		土石流
	41	揚名会館		急傾斜崩壊
	42	栃原公民館		
	43	江与味コミュニティセンター（江与味ふれあい館）指 指		
	44	ほたる会館		土石流
柵原	45	西公民館 指 指		
	46	北和気体育館 指		土石流
	47	北和気コミュニティセンター 指		土石流
	48	柵原図書館（エイコンマナビ）指 指	0868-64-7055	
	49	南和気荘 指 指	0868-64-0180	
	50	柵原学園体育館 指 指	0868-64-0001	
	51	農業総合管理センター 指	0868-62-1599	浸水地域
	52	周佐公会堂		
	53	柵原総合文化センター（柵原総合支所）指	0868-62-1125	浸水予想
	54	はとホール	0868-62-1599	
	55	藤原老人憩いの家及びデイサービスホーム 指	0868-62-1537	地すべり
	56	特別養護老人ホーム吉井川荘	0868-62-1277	浸水地域
	57	柵原ふれあい鉱山公園 指	0868-62-7155	浸水地域
	58	吉ヶ原老人憩いの家 指 指		

危険地域に立地している避難所です。

福祉避難所

指定福祉避難所 指 平時施設利用者のほか要支援者などで一般の避難所での避難が難しい場合、あらかじめ個別に避難計画を作成された方が利用可能な避難所です。

地区名	番号	避難場所	電話番号	※危険区域の種別
中央	1	中央ふれあいセンター	0868-66-2940	
	2	養護老人ホーム静香園 指	0868-66-0012	
	3	社会福祉法人中央福祉会本体エリア 特別養護老人ホーム白寿荘他 指	0868-66-2443	
	4	社会福祉法人中央福祉会サテライトエリア 特別養護老人ホームわかば他 指	0868-66-3133	

地区名	番号	避難場所	電話番号	※危険区域の種別
旭	5	福祉の里あさひが丘 指	0867-27-2203	
柵原	6	特別養護老人ホーム吉井川荘 指	0868-62-1277	浸水想定区域
	7	社会福祉法人千寿福祉会書副エリア 障がい者支援施設さやかなる苑他 指	0868-64-7003	

危険地域に立地している避難所です。

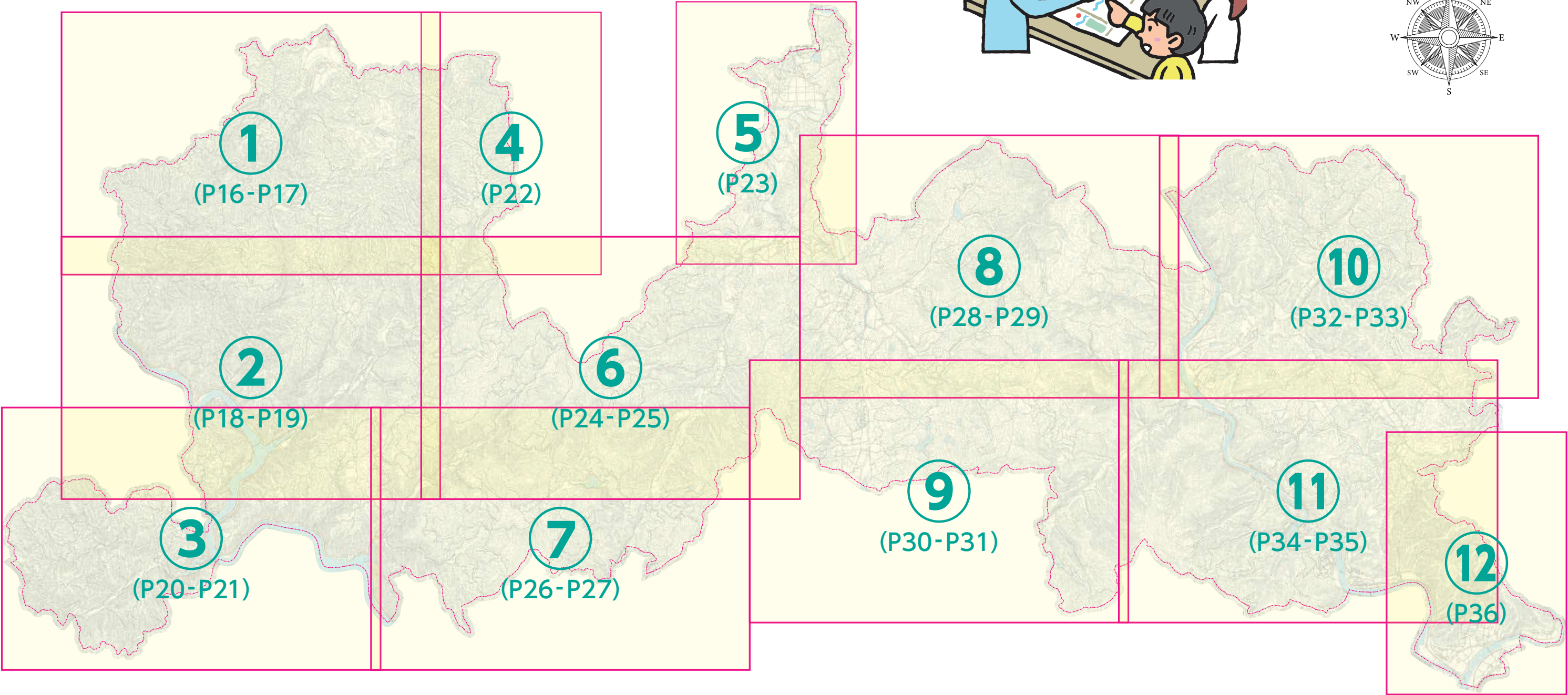
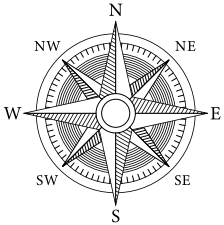
※指定されている避難所は災害の種別や状況により、必ずしも安全とは限りません。状況によっては、自治会や自主防災組織などで指定してある地域の安全な場所や施設に自主避難を行なうか、自宅内の安全な場所にとどまって危険を回避してください。

ハザードマップ全体索引図

地図上に記載している番号（①～⑫）は対象となる地域の地図番号となっています。
お住まいの地域の番号をご確認ください。

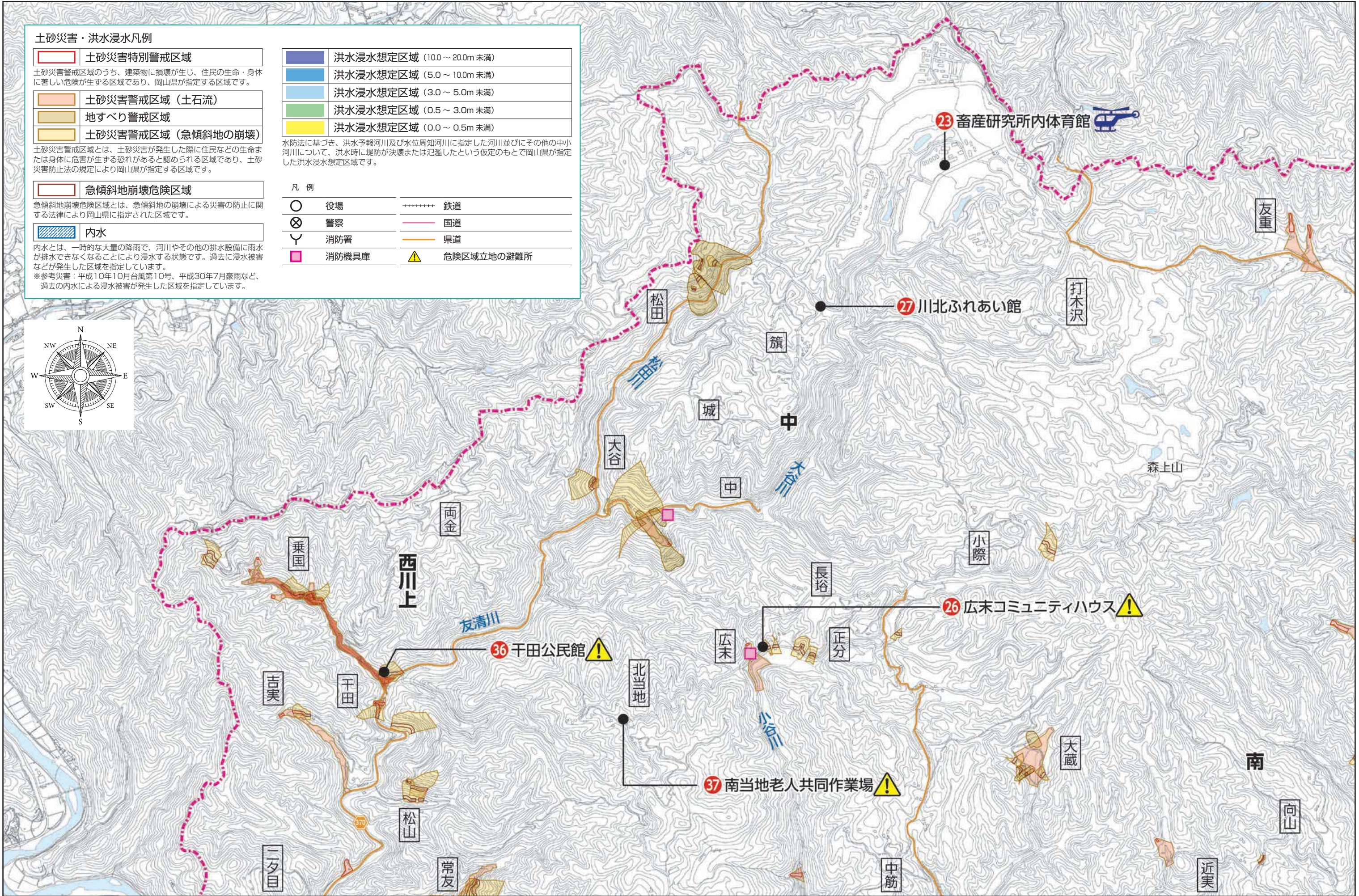


自宅を見つけ、実際の避難経路
を地図に記入して事前に歩いて
みましょう。
その際に自宅から避難先まで必
要な時間を計測してみましょう。

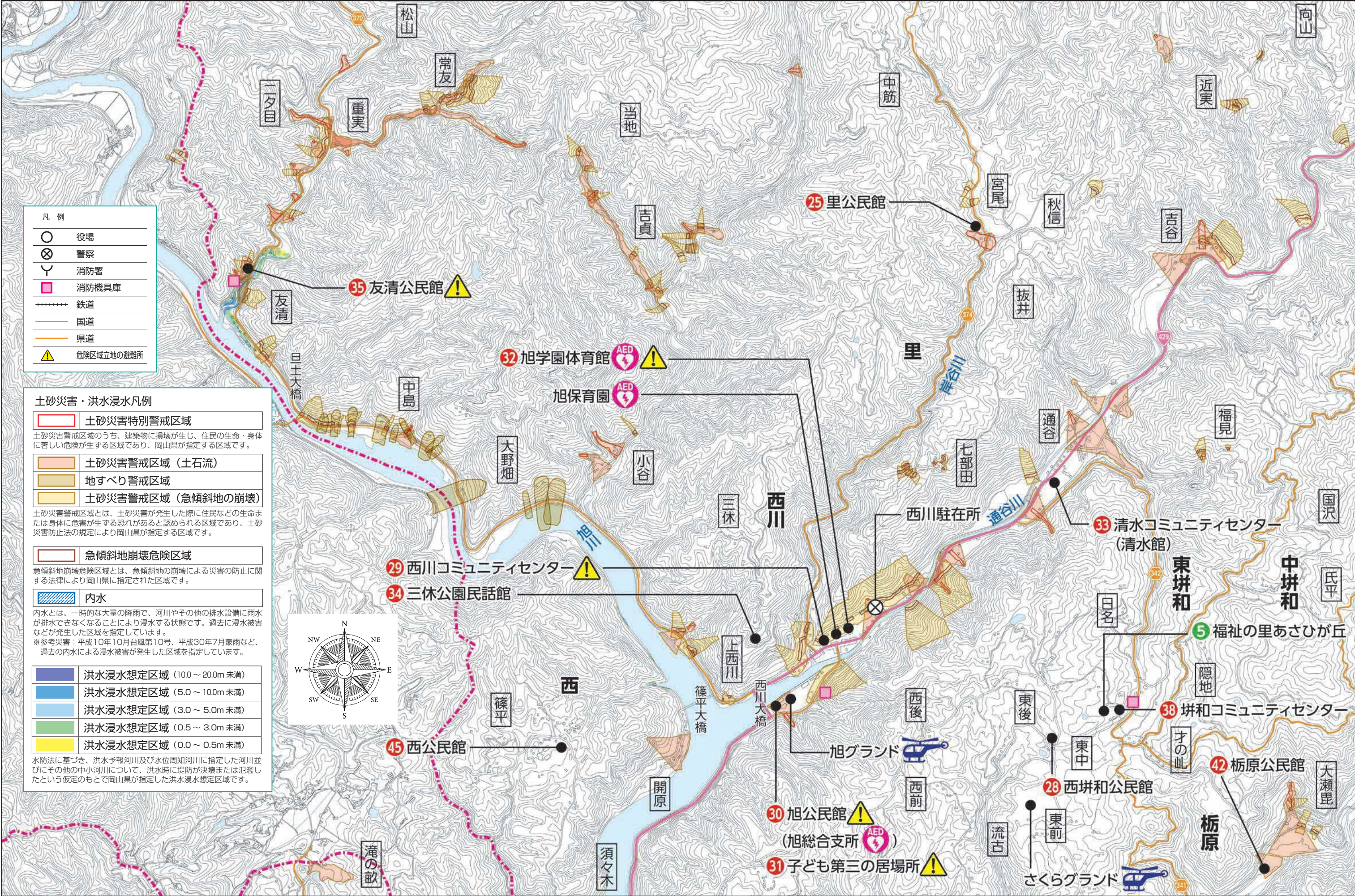


美咲町ハザードマップ①

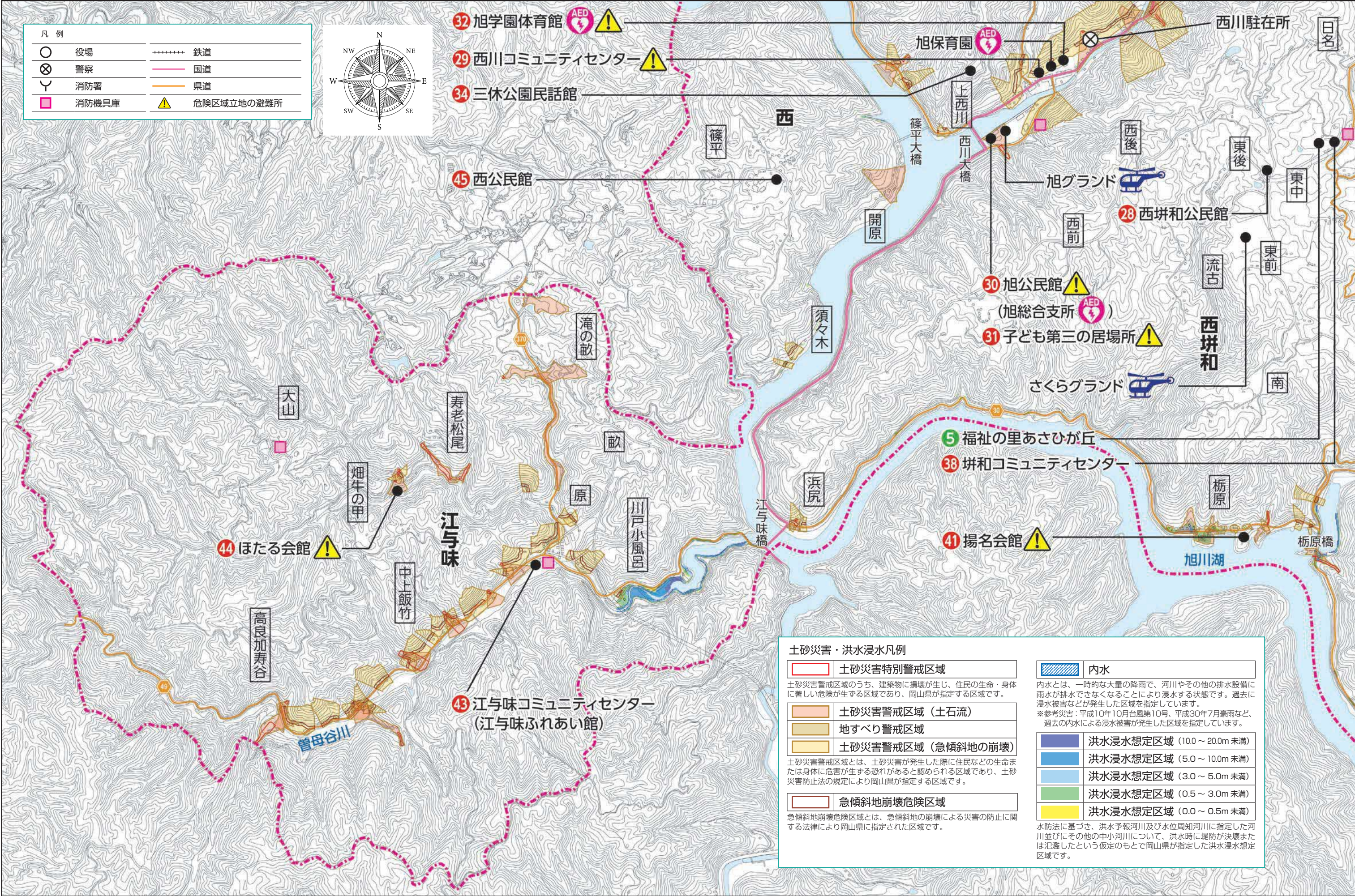
「出典：国土地理院発行 基盤地図」



美咲町ハザードマップ②

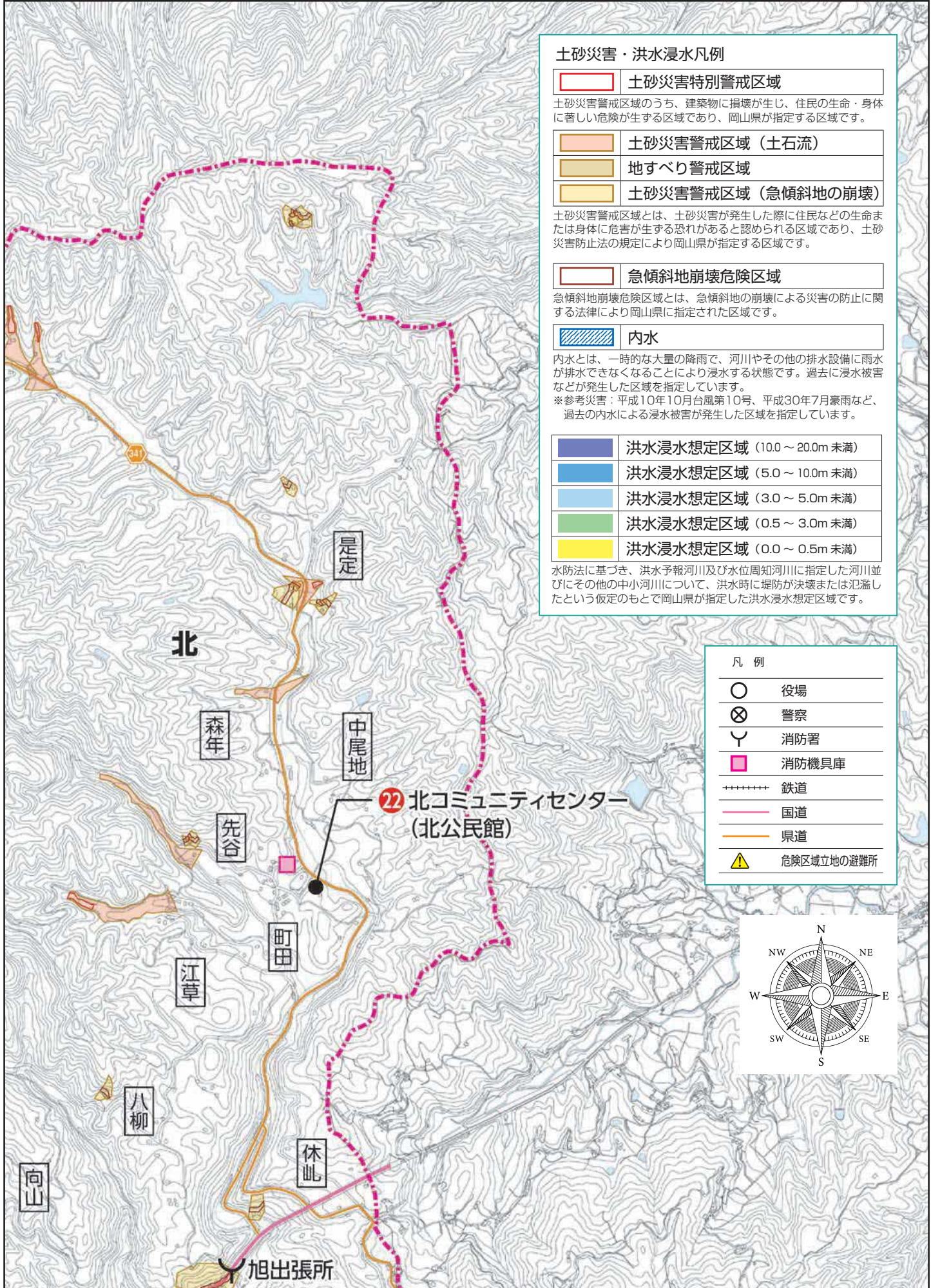


美咲町ハザードマップ③



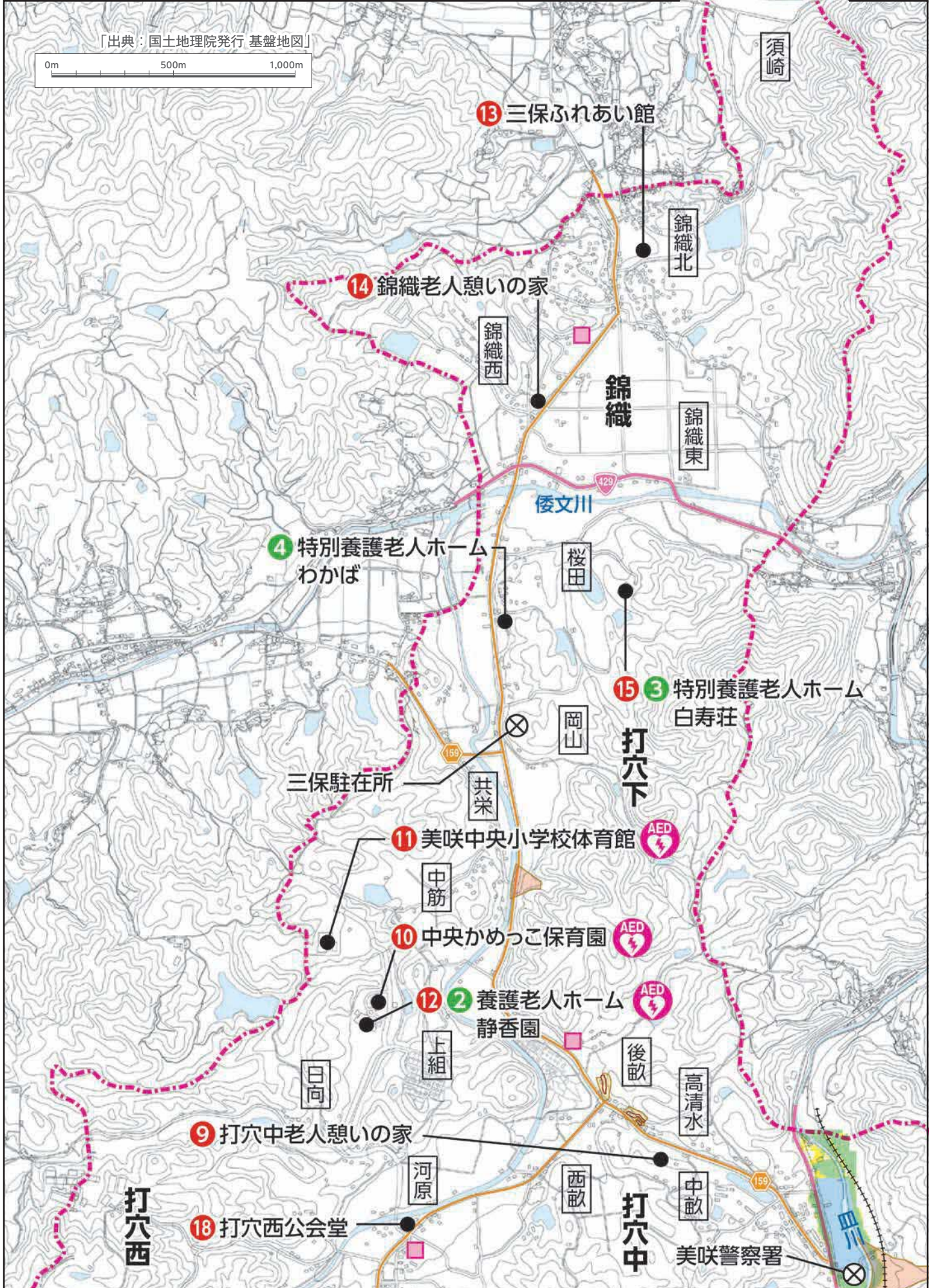
美咲町ハザードマップ④

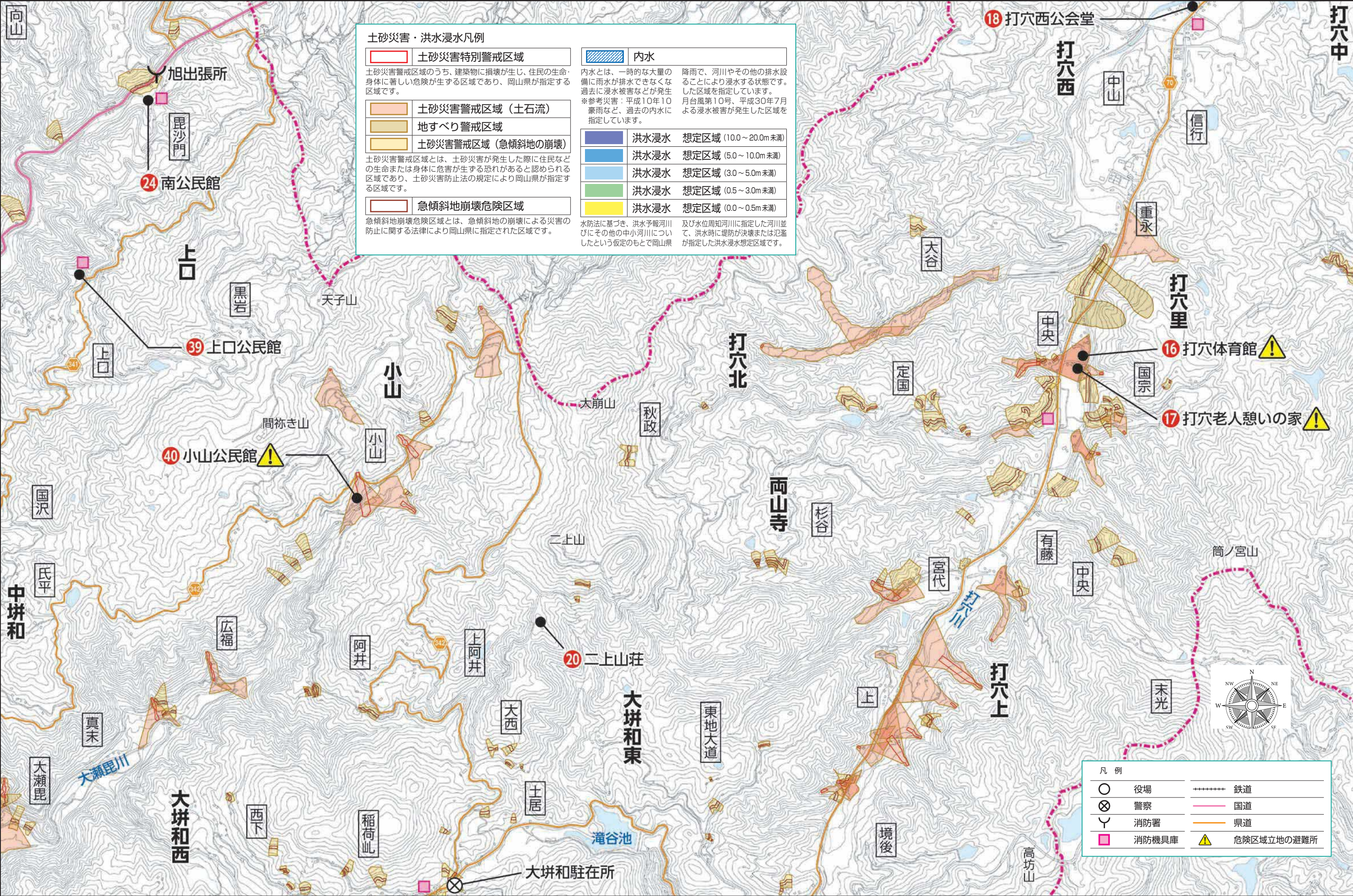
「出典：国土地理院発行 基盤地図」



美咲町ハザードマップ⑤

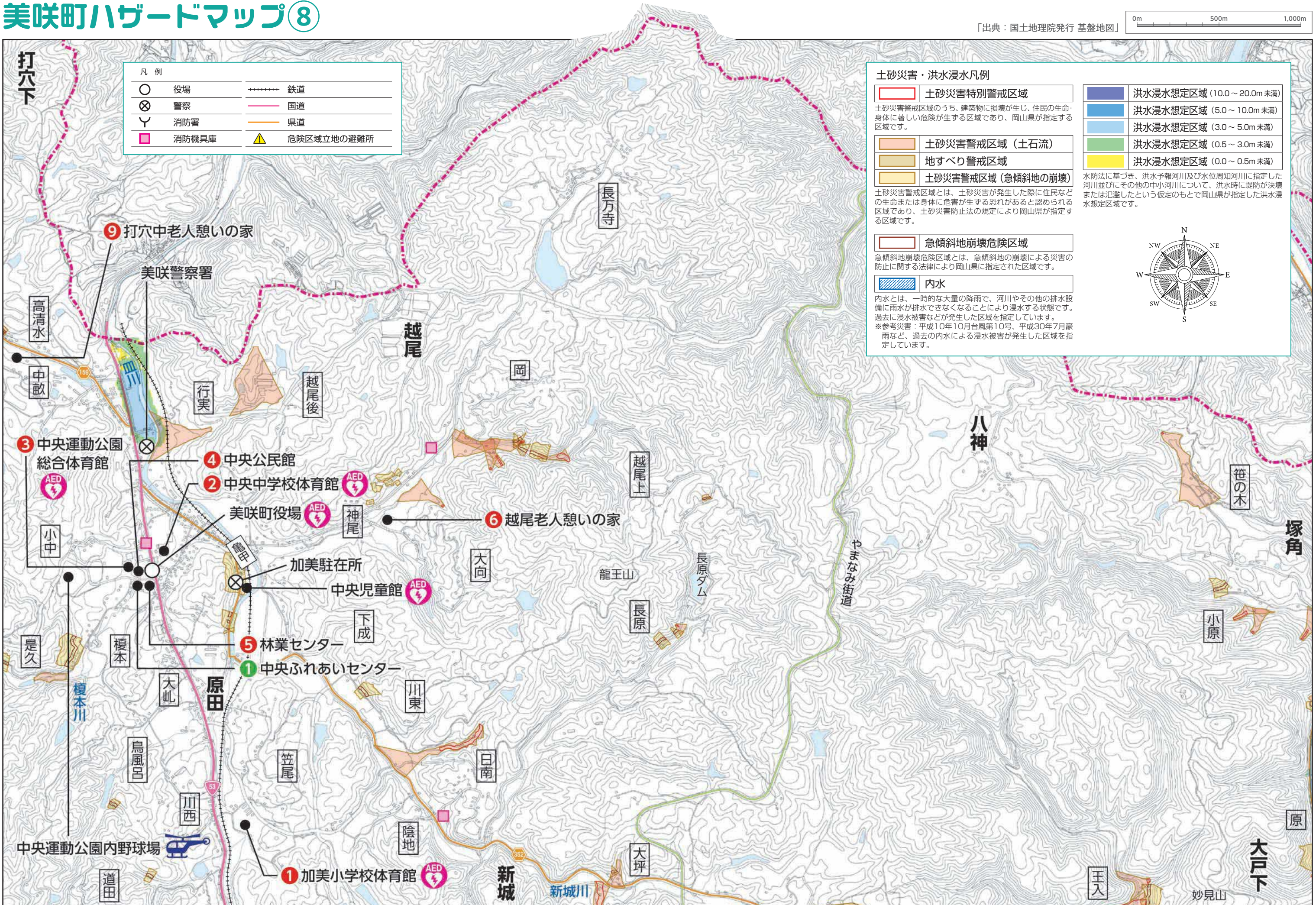
「出典：国土地理院発行 基盤地図」



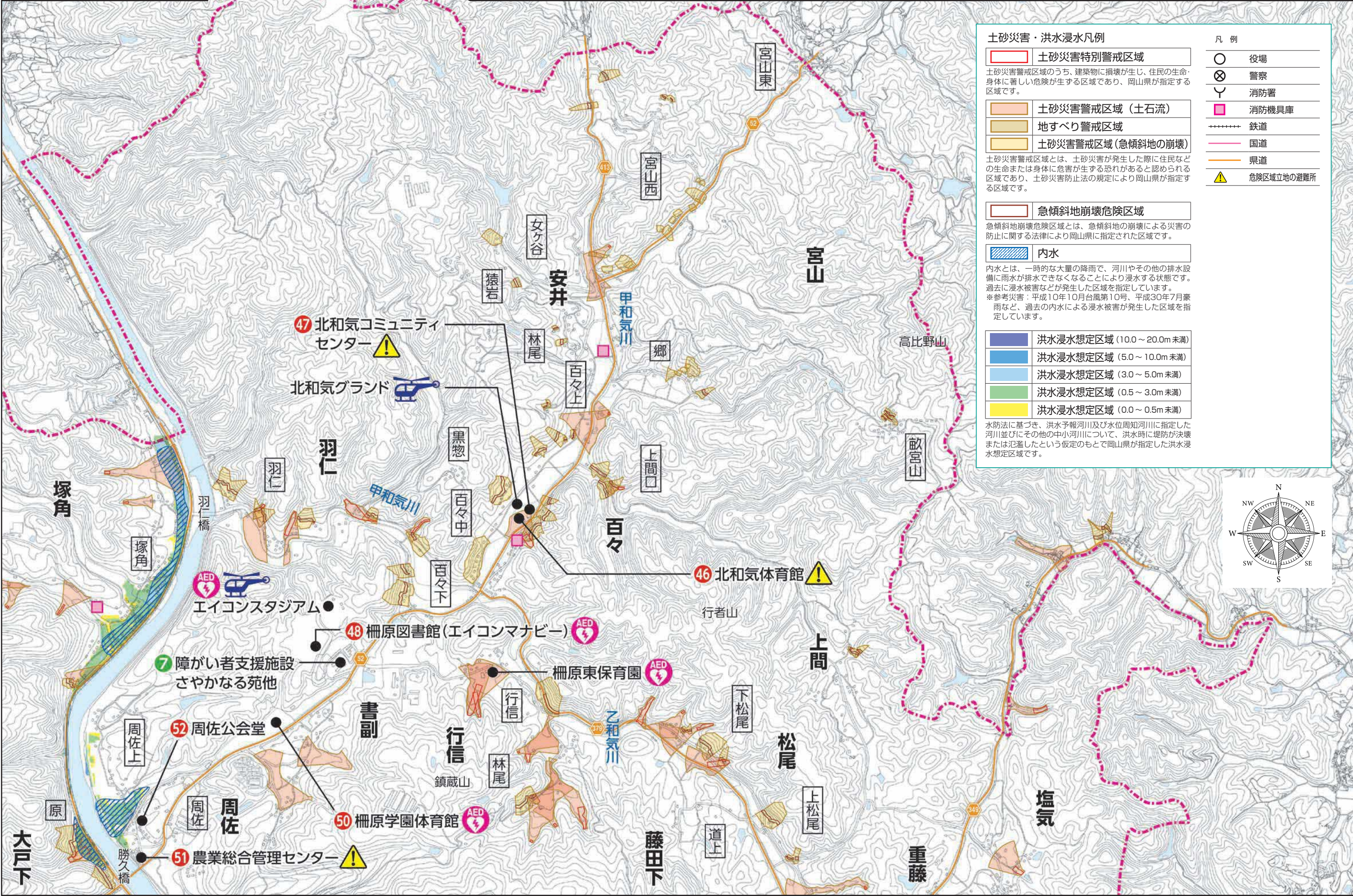


美咲町ハザードマップ⑧

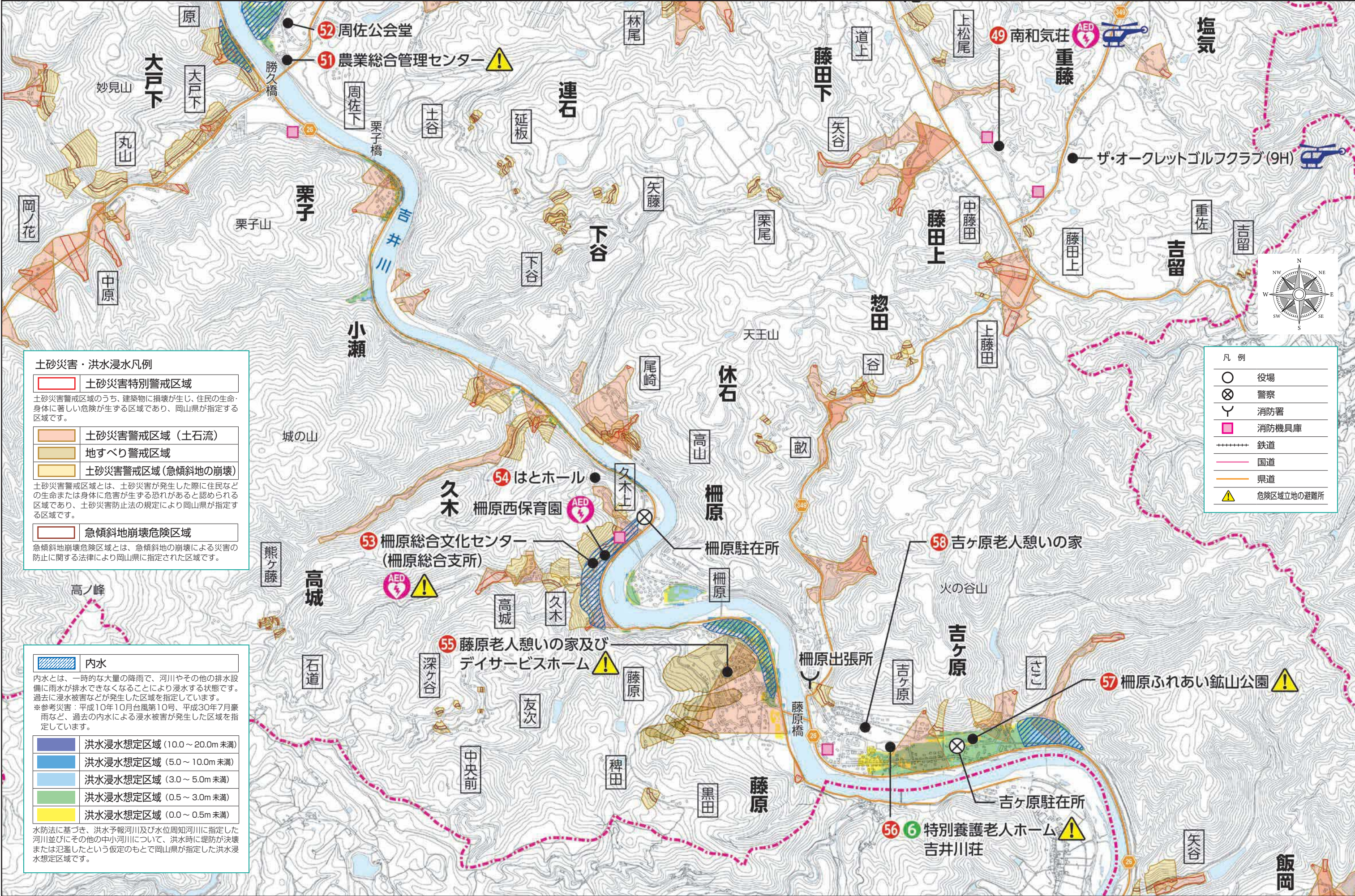
「出典：国土地理院発行 基盤地図」

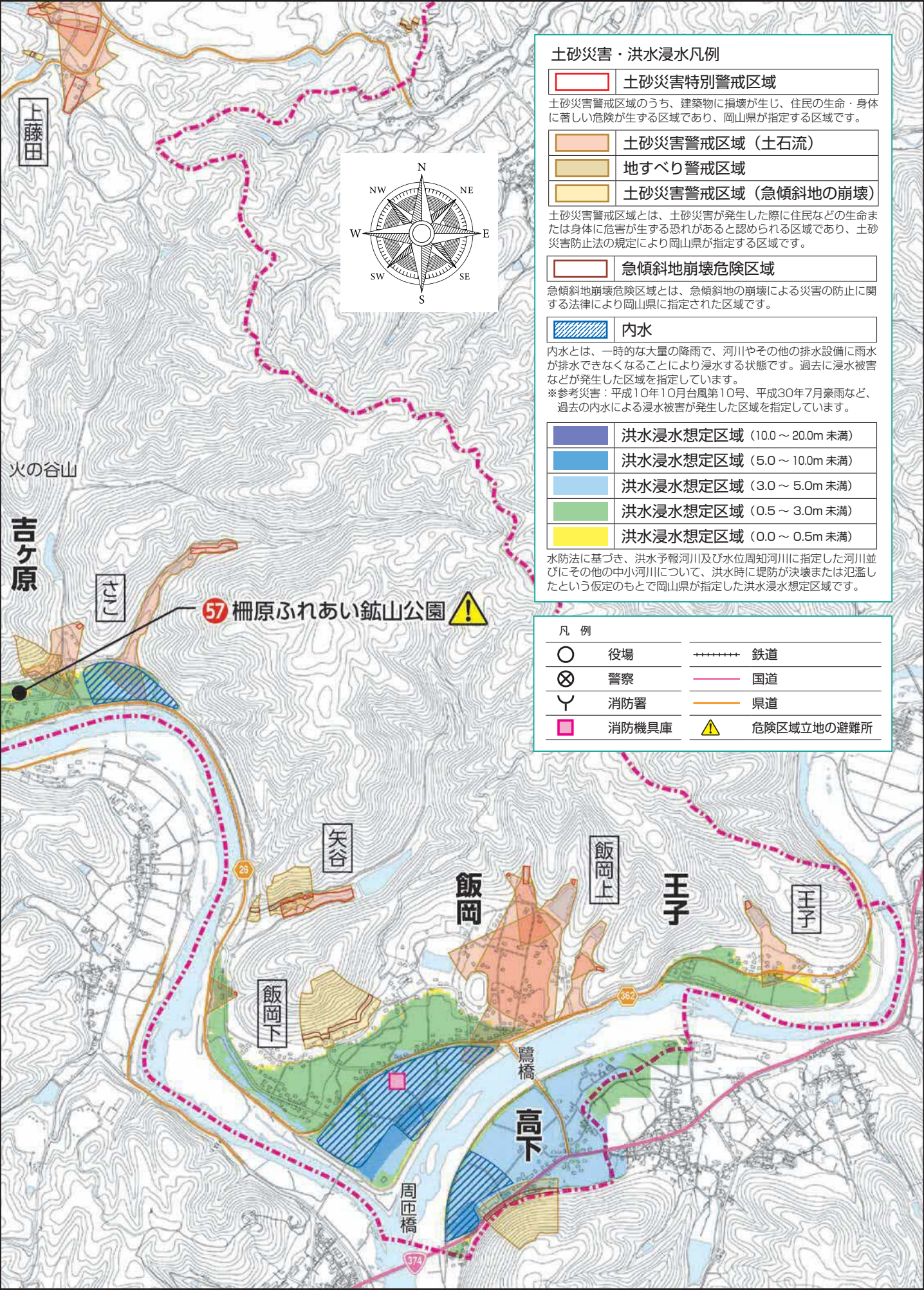






美咲町ハザードマップ⑪





防災メモ

台風の接近、局地的な大雨、河川の氾濫、地震などの災害発生時に安全に避難をするために予めどう行動するか決めておきましょう！

風水害洪水発生	一次避難所	(集会所広場など)
	指定避難所	(体育館・運動場など)
	避難するタイミング	
	気象庁からの気象情報	
	TV、ラジオなどからの情報	☐ 避難警戒レベル3相当情報 ☐ 避難警戒レベル4相当情報 ☐ 避難警戒レベル5相当情報
	河川水位	☐ 氾濫危険・ ☐ 避難判断・ ☐ 氾濫注意
	土砂災害	
地震発生	その他	
	自治体からの避難情報	☐ 警戒レベル3 高齢者など避難 ☐ 警戒レベル4 避難指示 ☐ 警戒レベル5 緊急安全確保
	一次避難所 (各自地域で決めている安全な場所)	(集会所広場など)
	指定避難所	(体育館・運動場など)
	避難のタイミング	
	その他	

その他必要なこと

※災害が発生しそうな場合、発生した時の基準です。各自見えるところに貼り確認しましょう。
※災害時には、TV、ラジオ、インターネット、自治体からの情報を確認し行動しましょう。

異常気象、災害発生時連絡先 美咲町災害対策本部へ連絡をお願いします。					
中央地域	0868-66-1111	旭地域	0867-27-3111	柵原地域	0868-62-1111

わが家の防災メモ

携帯電話などに記録している電話番号など家族の連絡先は、バッテリーが切れると分からなくなります。いざという時に備えて、紙に書いて持っておきましょう。

避難場所	
家族の集合場所	
災害時の緊急連絡先	

家族の名前	生年月日	血液型	会社名・学校名	連絡先・携帯電話	持病・薬

災害時の情報はここから

災害時には、いち早く正確な情報を得ることが重要です。テレビ、ラジオ、緊急速報メールなどのいろいろな情報源がありますので、積極的に活用しましょう。

災害用伝言ダイヤル 171 とは？

災害用伝言ダイヤル（171）は、被災地の方などの電話番号や携帯電話等の番号をキーとして、安否等の情報を音声で登録・確認できるサービスです。

伝言の録音	171-1- □□□ - □□□ - □□□□ (被災地の方の電話番号)
伝言の再生	171-2- □□□ - □□□ - □□□□ (被災地の方の電話番号)
伝言内容	1 伝言あたり 30 秒以内
伝言保存期間	提供終了まで
伝言蓄積数	電話番号あたり 1 ～ 20 伝言
利用可能電話	一般電話、ISDN、公衆電話、 ひかり電話、携帯電話、PHS 等

※ ISDN 及びひかり電話をご利用でダイヤル式電話機をお使いの場合はご利用になれません。

美咲町 暮らし安全課

〒709-3717 岡山県久米郡美咲町原田 2144-1
電話番号：0868-66-1112（代表）
<https://www.town.okayama-misaki.lg.jp>

土砂災害の警戒情報を確認！

岡山県土砂災害危険度情報 防災砂防課
<https://www.d-keikai.bousai.pref.okayama.jp/pc/>



大雨の情報を確認！

高解像度降水ナウキャスト 気象庁
<https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>



土砂 / 洪水 / 浸水害情報の確認！

キキクル（危険度分布） 気象庁
<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>



総合的に情報を確認するには…

岡山防災ポータル
<https://www.bousai.pref.okayama.jp/>



町内の身近な情報を確認！

美咲町メール
<https://plus.sugumail.com/usr/misaki/home>



河川の水位状況を映像で確認！

地域防災情報アプリ
JC-smart→サービス選択
(岡山県→みさきの気持ち)



iOS版

Android版

2026年3月作成